保護者の皆さまへ

鹿大だより

第9号

KAGOSHIMA UNIVERSITY

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580　鹿児島市郡元1丁目21番24号　TEL099-285-7035　FAX099-285-3854　E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学キャンパスの施設紹介

～学生がよく利用する学内の施設について～

◎附属図書館

附属図書館は、中央図書館（郡元地区：全分野の資料を所蔵）、桜ヶ丘分館（桜ヶ丘地区：医学、歯学、看護関係資料を所蔵）及び水産学部分館（下荒田地区：水産学関係資料を所蔵）の3館で構成されており、本学の学生・教職員はもとより、一般市民に対しても開放しています。

館内には、図書、雑誌（電子版含む）、新聞などの資料があり、一部を除いて館内での閲覧、複写や貸出ができます。学内にない図書や雑誌については、他大学の図書館から複写物や資料の現物を有料で取り寄せることもできます。また、閲覧席のほか、多様な学習スタイルに対応した学習スペース（アメニティルーム、グループ学習室など）を整備しており、多くの学生が利用しています。パソコン端末室では、インターネットでの情報収集やレポート作成などの作業が行えます。図書館の機能を有効に活用してもらえるように、利用法や資料の探し方などの講習会を学生・教職員の要望に応じて随時実施しています。

また、平成23年度より中央図書館では利用者証による入退館時のチェックシステムを導入し、館内の安全を高めるよう努めています。

附属図書館の開館時間、休館日等はホームページにてご確認ください。

●附属図書館のホームページ
http://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/

中央図書館

アメニティルーム

◎保健管理センター

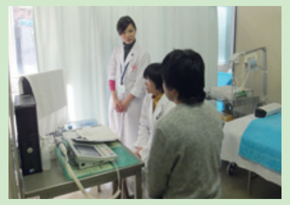
鹿児島大学には、学生・教職員の心身の健康の保持増進を図るため、保健管理センターが設けられています。

センターでは、医師3名、保健師3名で健康相談業務を行い、さらにカウンセラーやソーシャルワーカーが学生支援にあたっています。また、学校医による専門医療相談日（精神神経科・整形外科・眼科・耳鼻科・婦人科・歯科等）も設けています。これらの他にも、毎年4月に全学生を対象に実施している定期健康診断や事後指導、急性疾患に対する短期的投薬、他医療施設への紹介・受診指導、健康診断証明書発行、健康教育活動、保健管理に関する調査研究、環境衛生および感染症予防に関する指導、卒煙（禁煙）サポート、救急蘇生法講習会、健康管理機器の利用提供、救急薬品の貸出、産業医による安全確認の為の巡視等さまざまな業務を行っています。

風邪、インフルエンザ、喘息などの呼吸器疾患や、打撲・捻挫・擦り傷などの外傷、また心の悩みの相談などが多く、年間5000件以上の利用があります。

本学の学生・教職員なら誰でも利用できます。診察料、健診料、簡単な血液検査、薬代はいずれも無料です。

保健管理センター



診療風景

◎教育センター

鹿児島大学の教育課程は、共通・基礎教育課程と専門教育課程からなっています。教育センターは、共通・基礎教育課程を担う全学施設で、専門教育課程を担う9学部と連携して、学部の入学定員1950名を約1年半の期間で教育します。

共通・基礎教育課程での新しい教育として、「人間力」の養成、すなわち『自ら考え、他者とのコミュニケーションを取りながら、適切な判断力と行動力により社会に貢献できる能力』の育成を目指しています。このような能力は、知識詰め込み教育では決して鍛えることができないもので、この十年余りにわたり少しずつ培ってきた新しい教育科目を中心にして構築するものです。平成23年度から試行し、平成25年度から本格導入する新しい共通教育では、次の3つの養成プログラムと5つの教育目標からなっています。

■人間力養成プログラム
①倫理観に支えられた社会参画意識と社会貢献意欲をもち、地域に学んでその問題に継続して果敢に取り組むことができる
②自己開発と自己管理能力をもち、チームワーク活動で適切なリーダーシップを発揮できる
③日本語表現力と国際社会でのコミュニケーション能力を発揮できる

■学力養成プログラム
④文化、社会、自然に関する適切な認識と深い理解をもっている

■専門基礎力養成プログラム
⑤科学的方法を理解し、応用能力を身に付け、絶えず向上心を持ち続ける

教育センターを利用する学生

共通教育科目の一環でパラグアイへ

◎留学生センター

留学生センターは、外国人留学生及び海外留学を希望する本学の学生に必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、平成12年4月に設置されました。

本学は世界各国、約40ヶ国から留学生を年間約300名迎えています。

センターでは、これらの留学生が鹿児島で楽しく有意義な留学生活を送れるように、日本語教育以外にも、異文化理解教育、相談指導など様々な支援を行っています。また日本人学生には、留学生のチューターとなって、日本語学習や生活のサポートをお願いしています。そのためのノウハウなども教えています。

また、本学は海外の大学と学術交流協定を多数結んでおり、それらの大学との交流支援にも留学生センターは関わっています。日本人学生が海外の交流協定校に留学を希望する場合は、説明会を実施し、派遣前には各種のアドバイスも行っています。本学では、日本人学生の海外派遣にも力を入れていますので、海外留学を考えている方はぜひ留学生センターに立ち寄ってください。いろいろな情報を提供するとともに、留学への具体的な準備方法などもお知らせします。

授業風景

留学生によるポスターセッション

◎学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、鹿児島大学の情報通信基盤を担う中核的存在として、計算機システムの教育・研究利用への支援、キャンパス情報ネットワークの運用管理及び、情報セキュリティに関する相談を行うほか、学内外の情報関連組織と連携して主体的に研究開発を行っています。

学生に対するサービスとしては、教育用システムとして約1000台のパソコン端末を学内の端末室などに設置し、学生のコンピュータリテラシー教育、生涯メール、大判印刷サービス、専門ソフトウェアなどの導入、学外からのVPN接続サービス、情報関連資格取得講座及び情報セキュリティ講習会の開催、IT相談等により、教育研究活動の支援を行っています。

本学の教職員・学生であれば学術情報基盤センターが管理するパソコン端末を授業・自習・研究などのために利用することができます。利用にあたっては学術情報基盤センターが発行する利用証に記載されている利用者IDとパスワードが必要です。

休暇期間中を除いては、平日は8時半から22時まで、土日は、13時から18時まで開館しています。開館予定は、ホームページにて確認のうえ、ご利用ください。

●学術情報基盤センターのホームページ
http://www.cc.kagoshima-u.ac.jp/

端末室

学術情報基盤センター

◎鹿児島大学生協（中央食堂）

鹿児島大学生協の中央食堂は毎日たくさんの学生・教職員が利用します。中央食堂は本学の中で一番大きな食堂で年間約300日営業しており、1日の来客数は3000人を超えます。営業時間は8時から19時半まで。朝食は1g／1.46円のバイキング形式となっており、昼食、夕食は好きな商品を選べるカフェテリアコーナー、ラーメン・うどんコーナー、カレー・丼ぶりコーナー、定食コーナーに分かれています。

定食は日替わりで「栄養バランス定食」と「ボリューム定食」の2種類から選ぶ事が出来ますので、しっかりとした栄養管理を行う事も可能です。（定食は昼のみの提供）カフェテリアコーナー人気No.1メニューは「ささみチーズカツ」240円です。鶏のささみとチーズの相性が抜群で不動の人気商品です。

他にも、「五目ラーメン」、「白身フライの卵とじ」などたくさんの人気メニューがあります。小鉢もたくさんの種類がありますので野菜が不足しがちな学生も安心です。季節のフェアでは「北海道フェア」、「クリスマスフェア」、「エスニックフェア」など利用者がメニューに飽きないように工夫しています。

休み時間になるとたくさんの学生で賑わうとても明るく楽しい食堂です。是非一度ご利用下さい。

中央食堂の様子

人気No.1メニュー「ささみチーズカツ」

鹿大の主な出来事

平成23年10月～24年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

●附属中学校創立60周年記念式典・祝賀会

10月15日、教育学部附属中学校創立60周年記念式典・講演会が開催され、生徒や教職員、同窓生、PTAなど約700名が参加しました。

式典後には第15期同窓生で福島県立医科大学副理事長の竹之下誠一氏による記念講演が行われました。同日、第7回同窓会総会と創立60周年記念祝賀会も開催されました。

●教育センターオープンクラス

10月17日から22日まで、一般市民を対象とした教育センターオープンクラス2011を開催しました。これは、地域に開かれた大学をめざし開講しているもので、高校生や主婦、会社員の方など47名が参加し、外国語科目や教養科目など興味のある講義を聴講しました。また、中央図書館、水産学部附属練習船「南星丸」、総合研究博物館、北辰蔵の見学やキャンパス史跡めぐりも行われました。

●動物慰霊祭および特別講演

10月22日、農学部附属動物病院の動物慰霊碑前において動物慰霊祭を行いました。一般市民、教職員、学生などが多数参列し、動物の尊い命に哀悼の意を表し、焼香を行いました。

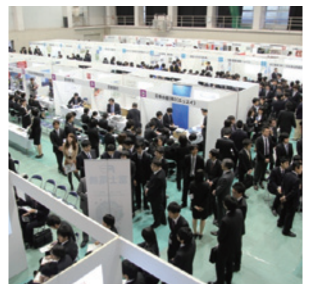
また、慰霊祭に先立ち、農学部の松尾智英准教授と白石光也准教授による「身近な寄生虫の話」、「動物と薬の基礎講座」と題された特別講演が行われました。

●地域と大学のローカルシンフォニーシンポ

11月11日、平成20年度から22年度にかけて実施した地域と大学のローカルシンフォニーの活動の成果を紹介し、今後の大学と地域のあり方、要望、新たな連携・連帯の活動を話し合う機会として、地域と大学のローカルシンフォニーシンポジウム－3年間の活動から、これからを展望する－を開催しました。市町村関係者、一般、学生、教職員など約130名が参加し、多様な意見が出され、今後の活動に向けて有意義な機会となりました。

●SSH「ダイコン多様性研究コンソーシアム」による研究会

全国スーパーサイエンスハイスクール（SSH）「ダイコン多様性研究コンソーシアム」による研究会「ダイコンを基盤としたトータルサイエンスの実践」が12月9日・10日の日程で開催されました。全国から集まった約100名の高校生に県教育長を始め、理学部教員や理工学研究科の大学院生・留学生などが加わり、研究成果の発表や学術講演などが実施され、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



セミナーの様子

●学内合同企業セミナー

12月11日、学部3年生および大学院1年生を対象に学内合同企業セミナーを開催し、約800名の学生が参加しました。

このセミナーは、学生に企業と接する機会を提供し、就職活動の時間的・経済的負担の軽減を図ることを目的に例年開催しているものです。県内外の幅広い業種の企業82社が参加し、学生は自分の興味のある企業のブースを訪れ企業担当者から直接説明を受けました。

●学生・教職員ワークショップ開催

12月22日、「鹿大らしいピア・サポートを創り出そう」をテーマに2011年度学生・教職員ワークショップが開催され、学生・教職員59名が参加しました。

今回は、過去2回のワークショップでのピア・サポートの共通理解の獲得、ピア・サポートに関する提案・自分自身の関わりについての意見交換を踏まえ、本学のピア・サポートの具体的な体制作りを目指しました。　※ピア…同僚、仲間

●「宇宙だより」が完成

平成23年5月16日打ち上げられたスペースシャトルエンデバー号の最終フライトに搭載し、国際宇宙ステーション（ISS）に16日間滞在した焼酎麹と焼酎酵母を用いて仕込んだ新焼酎が完成し、「宇宙だより」と命名され発売されることを記念して、1月13日、本学で試飲会（利き酒）を行いました。

12種類の「宇宙だより」

●学業成績優秀学生奨学金授与式

1月25日、優秀な学業成績を修めた学部学生に奨学金を給付する学業成績優秀学生奨学金授与式を開催し、学部学生85名に年額15万円の奨学金を給付しました。学生の勉学意欲の向上及び優秀な人材の輩出などを図ることを目的に平成23年度に創設されたもので、対象者は（外国人留学生を含む）学部の全学年であり、在籍中の成績評価により奨学金を支給します。

●進取の精神学生表彰式を開催

在籍期間中において困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」を実践し、学生憲章の趣旨に即した活動実績や優秀な業績等を修めた学生及び学生団体を表彰する「鹿児島大学進取の精神学生表彰」（平成23年度新設）の第二次選考委員会が2月24日開催されました。選考会では、候補者5組が活動実績についてプレゼンテーションを行い、審査の結果、最優秀賞をウミガメ研究会の渡辺瑞季さん（水産学部2年）が受賞し、4組が準優秀賞を受賞しました。表彰式では、吉田学長から受賞者に表彰状や副賞等が贈呈されました。

表彰式の様子

●卒業式・修了式

3月23日、平成23年度鹿児島大学卒業式・修了式が挙行され、学部卒業者1985人、大学院修了者557人の計2542人が巣立ちました。卒業生総代答辞では、農学部の大山功太郎さんが「鹿児島大学で受けた恵みを社会に還元する責任を自覚し、常に最善を尽くしたい」と力強く決意を述べました。

学位記授与

鹿児島大学短期派遣留学制度

COLUMN

鹿児島大学が国際学術交流協定を結んでいる21ヶ国59機関の大学に6ヶ月以上1年以内の交換留学をする学生を選考の上、派遣する制度です。

留学期間は修業年限に算入され、派遣先大学の入学料・授業料が免除されます（宿舎費・生活費等は自己負担）。

平成23年度交換留学生の派遣先　《合計10名》

国　名	派遣先大学	人数
中国	湖南農業大学	1
韓国	江陵原州大学校	1
	江原大学校	1
台湾	淡江大学	2
ドイツ	ミュンヘン大学	1
	ボン大学	2
フランス	レンヌ第2オート・ブリュターニュ大学	2

平成24年度交換留学生の派遣先　《合計13名》

国　名	派遣先大学	人数
韓国	江陵原州大学校	1
	江原大学校	1
	釜慶大学校	1
	釜山大学校	1
中国	湘潭大学	1
	山東師範大学	2
台湾	淡江大学	1
タイ	カセサート大学	1
ドイツ	ミュンヘン大学	2
	ボン大学	1
フランス	レンヌ第2オート・ブリュターニュ大学	1

渡航にあたっては本学留学生センターと国際事業課が派遣前から現地との連絡をサポートしますが、帰国後の単位認定、就職活動、卒論制作等を視野に入れた留学計画を立てるなど、学生本人による周到な準備も必要です。

年2回開催される説明会には毎回約50名が参加。派遣される学生は毎年10名前後で決して多くありませんが、これまでに派遣された学生は進学や就職にめざましい活躍を見せており、今後ますます交換留学する学生の増えることが期待されます。

●平成23年度学長表彰授与者

被表彰者	表彰理由
学友会 バレーボール部（男子）	第61回九州地区大学体育大会 バレーボール（男子の部）第一位
菊野 慧／工学部建築学科 岩田 奈々／工学部建築学科	2011年度日本建築学会設計競技　タジマ奨励賞
山元 梨香 教育学研究科	2011年第65回記念二紀展　奨励賞（平成23年10月15日） 第58回県美展大賞　洋画部門（平成23年5月21日） 霧島市民表彰（平成23年11月6日）
折橋 広樹／理工学研究科	第6回日本磁気科学会年会　学生ポスター賞（平成23年9月28日）
飯隈 洋一 理工学研究科	第48回化学関連支部合同大会　化学工学分野優秀ポスター賞（平成23年7月9日） 第22回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会　ポスター賞（平成23年7月23日）
梅尾 清志郎 理工学研究科	第23回化学工学国際シンポジウム　学生賞（平成22年12月4日） 化学工学会第43回秋季大会反応工学部会　優秀発表賞（平成23年9月14日）
高橋 良尚／理工学研究科 小藤 菜緒／理工学研究科	第22回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会　ポスター賞（平成23年7月23日）
佐藤 峰南／理工学研究科	日本地質年会第118年学術大会　優秀ポスター賞（平成23年9月11日）
永田 洸大／理工学研究科	日本建築学会主催「コロキウム構造形態の解析と創生2011」優秀講演（平成23年10月28日）
野見山 周作／理工学研究科	第46回セントラル硝子国際建築設計競技　佳作（平成23年9月28日）
清田 翔太／理工学研究科	画像の認識・理解シンポジウム MIRU2011　MIRU長尾賞（平成23年7月21日）
ケティ・ティ・オウン （Kathy Thi Aung）／理工学研究科	17th International Symposium on Artificial Life and Robotics 2012 Young Author Award（平成24年1月19日）

●平成23年度鹿児島大学稲盛賞受賞者（学業に専念し成績優秀で品行方正な最終年次の学生、社会の期待にこたえるような業績を挙げた学生、その他同等以上の表彰に値する行為等があったと認められる学部学生及び大学院学生を表彰するものです。）
・法文学部／田村 真澄、上川床 久美　・教育学部／森谷 茉由、後藤 光　・理学部／平野 真璃子、江頭 慧
・医学部／白坂 渉、麻生 祐美　・歯学部／宮田 さほり　・工学部／待井 寛史、山本 尚史　・農学部／大山 功太郎、矢野 敏史
・水産学部／福永 彩香　・水産学研究科／緒方 由美

●平成23年度工業倶楽部賞受賞者（鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績等を挙げた、大学院研究科に在学する最終年次の学生を表彰するものです。）
・理工学研究科／林 光介　・農学研究科／柏木 明久

◎平成24年度学事日程

日程	行事
4月6日	入学式
4月11日～7月31日	前期授業
4月10日～27日	定期健康診断
8月1日～7日	前期末試験
8月9日～9月30日	夏季休業
9月4日	成績発表
9月11日～13日	後期履修申請期間
10月1日～2月1日	後期授業
11月15日～19日（予定）	大学祭
12月29日～1月3日	冬季休業
2月4日～2月8日	後期末試験
2月22日	成績発表
3月13日～15日	25年度前期履修申請受付期間
3月25日	卒業式

KAGOSHIMA UNIVERSITY ANNUAL SCHEDULE 2012-13　《共通教育の例》

鹿児島大学広報誌
『鹿大ジャーナル』

鹿児島大学のホームページ
http://www.kagoshima-u.ac.jp

MORE INFORMATION

最新の情報は鹿児島大学ホームページをご覧ください。「インフォメーション」、「トピックス」など、常時更新しております。また、広報誌『鹿大ジャーナル』もHP内で閲覧できます。

学部ニュース
～平成23年度後期～

各学部で行われた行事等を紹介します。

◎法文学部ニュース

●1月18日、学部2・3年生を対象に、金融関係やマスコミ関係、公務員等に採用が内定した4年生による就職活動体験報告会を実施し、約110名が参加しました。報告の中には就職活動を始めた時期や志望理由、実際の採用試験の内容をはじめ、就職活動を通して感じたこと、後輩へのアドバイスなどが盛り込まれ、参加した学生は真剣に聞き入っていました。

●1月29日、法文学部とメディア13社が共同開講している「マスコミ講座」の一環として公開シンポ「原発とメディア」があり、TBSテレビの金平茂紀さんが特別講演、パネル討議を交わしました。学生や市民、約160人が聴講しました。

●2月13日、「鹿大生によるフィルム上映会　地域をみつめる／地域に生きる」を開催し、人文学科の授業「映像制作演習」で制作した7作品を上映しました。一般市民と学生約60名が参加し、審査員特別賞には「震災から1年　ぼくらはここにいる」が選ばれました。

就職ガイダンス

鹿大生によるフィルム上映会

◎教育学部ニュース

●県内の小学校複式学級へ教育実習を修了した学生を派遣する「学習指導アシスタント」に学生らが参加しました。担任教師をサポートして学習指導を行い、少人数教育の指導を実践的に学ぶとともに、子どもたちとかかわる貴重な機会となりました。

●12月16日～20日、江陵原州大学人文学部日本学科の学生15名と教員1名からなる研修団が来日し、国際理解教育専修の学生がホームステイを受け入れ、学生交流会や鹿児島市内見学等を企画・実施し、交流を深めました。

●教員採用試験対策プログラムとして、11月～1月、学部教員や鹿県教育委員会、学校長経験者等の外部講師による特別講義を実施し、教職を目指す学部3年生延べ161名が参加しました。

●1月27日、学生FD委員が中心となり開催した、教育学部教育改善シンポジウム「EDU会議2012―みんなの理想の大学とするために―」に学生・教職員約100名が参加し、授業やカリキュラム、教員採用試験対策等について熱心な討論が行われ、全体発表では活発な質疑応答が繰り広げられました。

歓迎 韓国国立江陵原州大学校
韓国江陵原州大学からの研修団と

教育改善シンポジウム

◎理学部ニュース

●11月11日～13日理学部祭を開催し、学生による展示が行なわれ、多くの市民が訪れました。

●11月16日、学部3年生と院1年生を対象に就職ガイダンスが実施され、29名が参加しました。株式会社マイナビの森愛子氏による講演が行われ、内定を得た学生2名による就職体験談発表も行われました。

●12月7日、消防訓練及びAED講習会を実施し、134名が参加しました。鹿児島市消防局中央消防署の指導のもと避難・消火訓練及びAEDの実技講習が行なわれました。

●文部科学省主催第1回サイエンス・インカレ研究発表会に、理学部の1～3年生による4グループ（計10名）の研究成果が選抜され、2月18日・19日に日本科学未来館および東京国際交流プラザでポスター発表を行いました。

●11月～1月、インテンシブ理数教育特別プログラム先端科学講演会が4回開催され、延べ240名の教員・学生が参加して活発な質疑応答が行なわれました。

消火器使用による消防訓練

サイエンス・インカレ

◎医学部ニュース

●11月24日、第8回鹿児島地域医療教育講演会を開催し、学生・教職員など多数が参加しました。今回は地域医療教育・診療・研究の第一人者である、自治医科大学地域医療学センターの三瀬順一准教授より日々の実習に生かすEBM（evidence-based medicine：根拠に基づいた医療）をテーマに講演が行われました。

●平成23年度鹿児島大学解剖体慰霊祭が、11月14日、ご遺族をはじめ教職員・学生など約400名の参列のもと執り行われ、この一年間に解剖を受けられた系統解剖59体、病理解剖27体、法医解剖59体および開学以来の総数9378体の御霊に黙祷を捧げ、学生を代表して医学科3年生の川上翔平さんが学生代表の弔辞を述べました。

●保健学科では、10月から11月にかけて〝Nursing Perspectives as a Profession〟のテーマのもと、かごしま看護国際セミナーを開催し、「看護倫理」・「看護研究」・「専門職としての看護実践のあり方」・「看護の果たすべき社会的役割と自律性」など幅広いテーマについて講演が行なわれました。参加者らはグローバルな視点と希望をもって看護の抱える諸問題の解決にあたることの大切さを再認識していました。

講演会の様子

慰霊祭

◎歯学部ニュース

●離島巡回歯科診療同行実習は、離島へき地包括的医療に関する高度の知識と幅広い支援方法を習得し、医療人としての質的向上および離島へき地医療に関わる人材の増加を目的として、平成21年度から実施しているもので、今年度は、諏訪之瀬島（10／14-16）、悪石島（11／11-13）、中之島（11／25-27）など県内の5離島において同行実習を実施しました。

●11月14日、平成23年度鹿児島大学解剖体慰霊祭が開催され、解剖を受けられた御霊に黙祷を捧げたあと、学生を代表して歯学部の山崎憲さんが学生代表の弔辞を述べました。この後、祭主、喪主の献花につづき、参列した教職員・学生らによる献花が行われ、医学・歯学のために献体された御霊に感謝申し上げると共にその御冥福をお祈りしました。

●11月19日・20日の2日間にわたって桜ケ丘祭が開催されました。医学、歯学、保健学科生が、自ら企画した催し物や体験もの、医療系ならではといった個性あふれる企画ものが用意されました。また、恒例となっているゲストライブや軽音楽部による演奏、模擬店も立ち並び、多くの来場者でにぎわっていました。

離島巡回診療同行実習

桜ケ丘祭

◎工学部ニュース

●10月26日、稲盛会館において平成23年度工学部稲盛学生賞及び平成23年度前期学部長賞の授与式が行われ、稲盛学生賞受賞者14名及び学部長賞受賞者29名に、賞状及び副賞が授与されました。

●11月19日、第2回地域連携活動「ものづくり体験教室」を開催しました。今回は小学生28名とその保護者ら、技術部からは技術職員21名が参加して、出前授業では行えない機械加工、薬品やパソコンを使ったテーマでものづくり体験を行い、子どもたちに大変好評でした。

●11月19日、教育学部第1体育館及び第2体育館において工学部体育祭を開催し150名が参加しました。今年度の開催種目はフットサル、バスケットボールで学科の域を超えて交流を深める良い機会となり、大いに盛り上がりました。

稲盛学生賞・学部長賞 授与式

ものづくり体験教室

◎先生インタビュー　TEACHER'S INTERVIEW

大学は自ら考えて幅広く挑戦できる場です

農学部附属農場　准教授　**朴　炳宰**

鹿児島大学連合農学研究科修了。農学博士。2010年12月着任。

専門は作物生理。植物に興味があり、日本の最南端の鹿児島大学で熱帯作物の研究をするため15年前に留学しましたが、その頃から研究者になることを目指していました。

現在は、ヤムイモの休眠に作用する植物ホルモンの分析や、サトウキビの糖蓄積機構、熱帯果樹などの機能性成分を分析・同定する研究を行っています。例えば、作物の休眠期間を調節し、定植時期や出荷時期を調整することなども可能になります。また、鹿児島の農産物の品質、機能性成分を分析することにより、農業が主な産業である鹿児島の産業振興や地域活性化にもつながる研究です。

農学部の附属農場では、農場実習の一環として、学生一人ひとりに畑を与えて責任を持って作物の植え付けから観察・調査・管理まで、学生が自ら考えて取り組む「自主栽培」を取り入れていますが、講義で得た知識や理論、技術を現場で実践して真の農業および農学の知恵をつける場となっています。

鹿大は、学内農場の他に、入来牧場や唐湊果樹園、指宿植物試験場などを保有しており、各施設でいろんな教育・研究を行っています。その中で、学生には将来どういった仕事に就きたいかを考えながら、冒険心をもって、幅広く学んで欲しいと思います。

口腔外科学は学べば学ぶほど興味が広がる分野

医歯学総合研究科　顎顔面機能再建学講座　准教授　**向井　洋**

鹿児島大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。1978年4月着任。

専門は口腔外科学。研究しながら多くの症例にあたり診療できるため研究者になることを選択し、現在は臨床の分野を中心に研究を行っています。

主な研究テーマは、口腔領域悪性腫瘍に対する化学療法や顎関節症・顎変形症の診断及び治療ですが、口腔外科の分野はやればやるほど興味が湧いてくる分野なので、この他にも幅広い研究をしています。

歯学部では、平成18年度のカリキュラム再編をきっかけに、授業科目の変更のため講義の形態もいろいろと様変わりしてきましたが、その中でも研究にも興味を持ってもらえるように講座内の研究を紹介するなど工夫しています。5・6年生の臨床実習では手技の指導はもちろんですが、患者への接遇など基礎からしっかり指導するよう心がけています。

今の学生は、私が学生の頃に比べ学ぶ量も圧倒的に増えており、厳しいスケジュールの中で真面目に取り組んでいると思います。しかし、一方で、時間に余裕がないためか学生個々人の個性は目立たず、自分から学ぼうといった意欲が少ないようにも感じます。

学ぶことが多く休みもなかなか取れないと思いますが、学生には自分からいろんな物事にチャレンジして欲しいと思います。

◎農学部ニュース

●8月7日と11月13日に開催したオープンキャンパスに高校生や保護者ら延べ318名が参加し、農学部の紹介、各学科の説明会、学生によるキャンパスライフセミナー、体験コースや研究室探検が行われました。

●11月30日～12月2日、農林水産省主催で開催された「アグリビジネス創出フェア※2011」に出展し、来場者に農学部の教育・研究により創出された技術やプロダクトの紹介を行いました。

※全国の大学、企業などが成果物や技術を展示し、研究開発、技術移転の促進、新たなビジネスチャンスの創出などを目的として開催されるイベント。

●12月7日、主に鹿児島県・九州圏内参加企業（36社）によるブース形式の企業説明会「きばいやんせ鹿児島・九州―魅力ある農林食品産業―」を開催し、学部学生・大学院生134名が参加しました。

●12月27日、鹿児島市立玉龍中学1年生約120名を農学部に迎え、学部概要説明及び研究室での体験学習を実施しました。

オープンキャンパス

アグリビジネスフェア

◎水産学部ニュース

●9月30日に附属練習船かごしま丸代船の命名・進水式が、新潟造船株式会社（新潟市）にて執り行われ、「かごしま丸」と命名されました。（平成24年3月30日竣工）

●10月28日、公開講座「第7回海岸へ行こう　―干潟へGO!―」が本学部実験室及び重富海岸で開催されました。小学生32名の参加があり、干潟の環境や生物について学びました。

●11月12日・13日に郡元キャンパス・谷山港かごしま丸で「おさかなまつり」を開催しました。かごしま丸の一般開放やマグロの解体ショーなどを行い、600名を超える来場者がありました。

●11月21日・22日、フィリピン大学ビザヤス校で「国際合同セミナー」を開催しました。水産学部より9名が参加し、ポスター発表では大学院生等が参加したことで、国際研究会としての研究交流を実施することができました。

●11月22日～28日の7日間、練習船かごしま丸は、教育関係共同利用拠点認定事業の一環として、宮崎大学の学生を対象とした乗船実習を実施しました。

竣工したかごしま丸

おさかなまつり

●平成24年度就職支援プログラム（予定）

◎1～2年生対象

4月～7月	● 教養科目前期「キャリアデザイン」スタート
10月～翌年2月	● 教養科目後期「キャリアデザイン」スタート
2月	● 2年生対象進路ガイダンス

◎3年生（修士1年生）対象

5月～翌年4月	● 公務員・教員採用試験対策講座開設
6月上旬	● 学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
7月4日	● 第1回就職ガイダンス「就活スタート準備」
9月下旬	● 業界研究講座①～④
10月3日	● 第2回就職ガイダンス「業界（企業）研究・自己分析」
10月17日	● 第3回就職ガイダンス「人事担当者による理系対象のパネルディスカッション」
11月7日	● 第4回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」
11月21日	● 第5回就職ガイダンス「鹿児島県内企業人事担当者によるパネルディスカッション」
12月5日	● 第6回就職ガイダンス「エントリーシート対策」
12月9日	● 学内合同企業セミナー（ブース形式）
12月上旬	● 鹿児島発キャリアデザインセミナー
12月下旬	● 福岡開催の合同企業セミナー参加バスツアー
1月中旬	● 第7回就職ガイダンス「面接対策＆就活ストレス対処法」
1月下旬	● 第8回就職ガイダンス「グループディスカッション対策」
2月上旬	● 企業向け小冊子「求人のための大学紹介」発行
2月中旬	● 学内個別企業セミナーフェアー（講義形式）
2月中旬	● 就職支援講座「模擬面接&グループディスカッション実践」

◎4年生（修士2年生）対象

4月～翌年3月	● 学内個別企業説明会（随時）
4月11日	● 公務員採用試験説明会（国、鹿児島県、鹿児島市等）
5月中旬	● 県外公立学校教員採用試験説明会
5月下旬	● 就活応援講座Ⅰ「これからの就職活動」
5月下旬	● 鹿児島県公立学校教員採用試験説明会
6月下旬	● 就活応援講座Ⅱ「公務員・教員受験者向け集団討論対策」
8月上旬	● 学内合同企業説明会（ブース形式）
2月中旬	● 個別相談会

鹿児島大学と山口大学が「共同獣医学部」を設置 平成24年4月より両大学による共同教育課程開始

COLUMN

平成24年4月より、鹿児島大学と山口大学がそれぞれ「共同獣医学部」を設置し、両大学による共同教育課程が始まりました。全国初の共同獣医学部の設置により、両大学の特色を活かした「高度産業動物獣医療」や「高度伴侶動物獣医療」等を併せ持つ教育・研究の場が誕生し、質の高い教育を提供することが可能となりました。

共同獣医学部の教育は、両大学の学生が、同じ専門教育科目を同じシラバスと時間割に従って受講することを最大の特徴としています。教育科目の大部分を両大学で共通の科目とすることにより、両大学の教員が、持ち味を活かした専門性の高い教育を提供することが可能となります。

講義や実習は、両大学に設置された画像・音声入出力システムにより、学術情報ネットワーク(SINET4)を介したリアルタイムでの双方向性遠隔授業で行います。また、教員や学生が両大学を移動して受講する講義や実習も設けています。

共同獣医学部の教育課程は、共通教育課程と専門教育課程により構成されています。

共通教育課程においては、「基礎教育科目」及び「共通教育科目」を履修し、獣医学の基礎となる生物学、化学などの知識を再確認するとともに、実験・実習動物の生命倫理を理解し、自分を表現し伝達するためのコミュニケーション力、語学力などを磨きます。

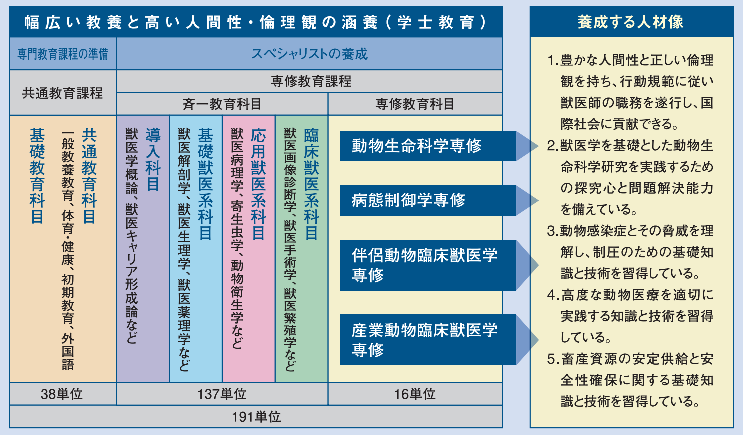
専門教育課程においては、まず専門教育の核となる斉一教育科目を履修し、獣医師として必要な知識と技能を身に付けつつ、より発展的な専修教育科目を履修します。

斉一教育科目は、獣医学の歴史、獣医師の社会的役割や倫理、動物福祉、法規などの獣医学教育全体に関する「導入科目」、動物の構造と機能に関する「基礎獣医系科目」、病原体及び病態基礎並びに動物疾病の診断予防に関する「応用獣医系科目」、動物疾病の診断治療に関する「臨床獣医系科目」から構成されます。臨床獣医系科目の参加型実習では、学内外施設における動物症例を通して、学生に診療実習指導を行います。

専修教育科目では、「動物生命科学専修」、「病態制御学専修」、「伴侶動物臨床獣医学専修」、「産業動物臨床獣医学専修」のいずれかのコースを学生が選択し、各専修に特長的な内容の専攻演習、卒業論文、特別講義及び特別実験を履修します。

《共同獣医学部ホームページ》http://w3vet.agri.kagoshima-u.ac.jp/

●共同獣医学部の教育システム


幅広い教養と高い人間性・倫理観の涵養（学士教育）

専門教育課程の準備　スペシャリストの養成

共通教育課程　専修教育課程（斉一教育科目・専修教育科目）

基礎教育科目

共通教育科目　一般教養教育、体育・健康、初期教育、外国語

導入科目　獣医学概論、獣医キャリア形成論など

基礎獣医系科目　獣医解剖学、獣医生理学、獣医薬理学など

応用獣医系科目　獣医病理学、寄生虫学、動物衛生学など

臨床獣医系科目　獣医画像診断学、獣医手術学、獣医繁殖学など

動物生命科学専修

病態制御学専修

伴侶動物臨床獣医学専修

産業動物臨床獣医学専修

38単位　137単位　16単位

191単位

養成する人材像

1. 豊かな人間性と正しい倫理観を持ち、行動規範に従い獣医師の職務を遂行し、国際社会に貢献できる。
2. 獣医学を基礎とした動物生命科学研究を実践するための探究心と問題解決能力を備えている。
3. 動物感染症とその脅威を理解し、制圧のための基礎知識と技術を習得している。
4. 高度な動物医療を適切に実践する知識と技術を習得している。
5. 畜産資源の安定供給と安全性確保に関する基礎知識と技術を習得している。

Clubs　サークル紹介

バレーボール部
九州インカレ優勝！学長表彰受賞

バレーボール部は男子部員12名と女子部員8名、マネージャー1名で、週6日活動しています。高校の交流試合の審判や他大学や高校生との練習試合、ワールドカップの役員など、学外での活動も広く行っています。

平成23年は様々な大会で躍進しました。男子は鹿県学生リーグで優勝し、九州学生リーグ（春季）では一部リーグ4位という快挙を達成しました。また、第61回九州地区大学体育大会（九州インカレ）で優勝し、学業や課外活動において優秀な成績をおさめた個人・団体に対して贈られる学長表彰を受賞しました。

今年の目標は、さらに魅力あるチーム作りに励んで、九州学生リーグで上位入賞することです。

練習はハードですが、イベントも多く、充実した大学生活を送ることのできる部活です。選手、マネージャーともに募集中です。

《バレーボール部ホームページ》
http://www3.synapse.ne.jp/kadaivbc/

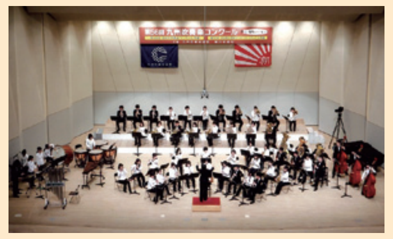
鹿児島大学学友会吹奏楽団
様々な人との出会いがあるアットホームな楽団

楽団は男子34名、女子55名の計89名をかかえる大所帯のサークルです。練習は週4日。個人（またはパート）練習と合奏を交互に行っています。クラシックやポップス、映画音楽など幅広く演奏しています。学部や学年を超えていろんな人との出会いがあるアットホームな楽団です。

毎年恒例イベントとして、4月の新入生歓迎合宿、7月の鹿児島県吹奏楽コンクール、8月の吹奏楽コンクール九州大会、9月の演奏旅行では鹿児島市外の方に生の演奏を届けるため4～5泊かけて県内の小・中・高等学校を演奏して回ります。平成23年は徳之島を回りました。12月は第50回記念定期演奏会を開催しました。

今年の目標は「全日本吹奏楽コンクールに出場すること」と主将の寺田さん（理学部2年）。相手の心に響く演奏を心がけさらなる飛躍を目指しています。

《学友会吹奏楽団ホームページ》
http://www.geocities.jp/kadai_wind/


第56回吹奏楽コンクール九州大会の様子